

リスキリング調査レポート

【2023年3月版】

「リスキリング」のリアルと展望



2024年2月より「学びのコーチ」はサービス名称を変更しています

Reskilling CAMP

パーソルイノベーション株式会社 Reskilling Camp（リスキリング キャンプ）

TOPICS

- ✓ 約4割の企業がリスキングに取り組む
- ✓ リスキングの実施率は大企業 > 中小企業
- ✓ リスキングの種別ではトップダウンが8割・ボトムアップが2割
- ✓ 重点スキルはITプロジェクトマネジメント、クラウド活用等
- ✓ 約3割の企業が昇給・昇格などの優遇を実施。検討中の37.5%と合わせると7割が昇給を実施・検討中

MESSAGE

国内におけるリスキングの最新動向として今回の調査結果を読み解くと、「リスキング後の昇給」を検討している企業が70%もあることは注目に値する。待遇面がリスキング推進上の課題の一つであったが、着実にその土台が整いつつあると言えるだろう。今後、この流れが加速することで優秀な人材確保の手段がリスキングとなることに期待したい。

調査概要

リスキングの実態と今後についてのインターネットアンケート

調査期間

2023年2月16日～2023年2月28日

回答社数

660社

回答業種

農林業・水産業・鉱業、建設・土木・工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信機械器具製造業、電気機械器具製造業(上記に含まれないもの) その他製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、通信業、情報サービス業、その他の情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究・専門技術者、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉業、複合サービス業、その他サービス業、その他

本資料内のデータ・グラフ等の画像・文章の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

01 リスキリングの取り組みの現状

- 直近1年間でのリスキリングの取り組み率は全体で約4割。
- 従業員規模別に見ると、リスキリングの取り組み率は大企業 > 中小・スタートアップ企業。
- 業種カテゴリ別には、製造業 > 通信情報サービス・その他の順である。

02 リスキリングの種類～トップダウンかボトムアップか

- リスキリングを実施している企業の8割がトップダウン（経営主導）による。
- 従業員規模別に見ると、大企業のほうがトップダウン比率がやや高い。
- 業種カテゴリ別では製造業のトップダウン比率がやや高い。

03 リスキリングの目的

- リスキリングの目的は、DX化 > GX化 > 新規事業開発 の順。
- 従業員規模別に見ると、規模が大きいほどDX化の比率が高い。
- 業種カテゴリ別には、通信情報サービスでDX化の比率が高く、製造業ではDX化に次いでGX化の比率も高くなっているのが特徴的。

04 リスキリングのスキル種類

- リスキリングの目的となるスキルは、「ITプロジェクトマネジメント」「データ活用」「クラウド活用」が上位である。
- 従業員規模別・業種カテゴリ別に見てもトップは「ITプロジェクトマネジメント」である。
※規模別・業種カテゴリ別には差異があり、本文参照。

05 リスキリングの対象部門

- リスキリングの対象部門は、情報システム・IT、人事、経営企画が上位である。
- 従業員規模別・業種カテゴリ別に見ても情報システム・IT、経営企画が上位である。
※規模別・業種カテゴリ別には差異があり、本文参照。

06 リスキリングの優遇措置

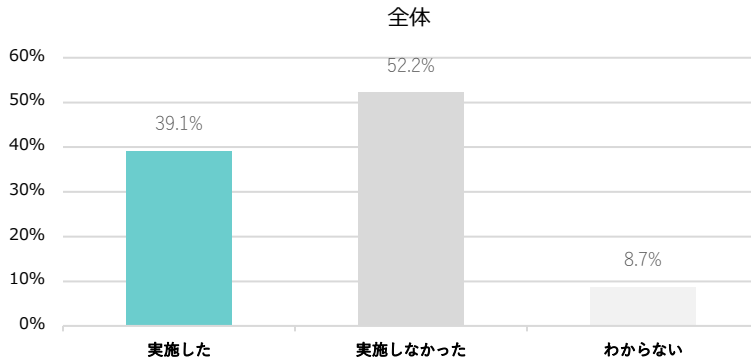
- リスキリングを行う人材に対して昇給を行っている企業は全体の33%。検討中の37.5%と合わせると7割が昇給を実施・検討中。
- 従業員規模別には大企業の実施率が42.3%と、中小・スタートアップ企業の23.0%に対して倍近く差をつけている。業種カテゴリ別には製造業の昇給実施率・実施予定率が通信情報サービスよりも高い。

01. リスキングの取り組みの現状

直近1年間でのリスキングの取り組み率は全体では約4割。

Q

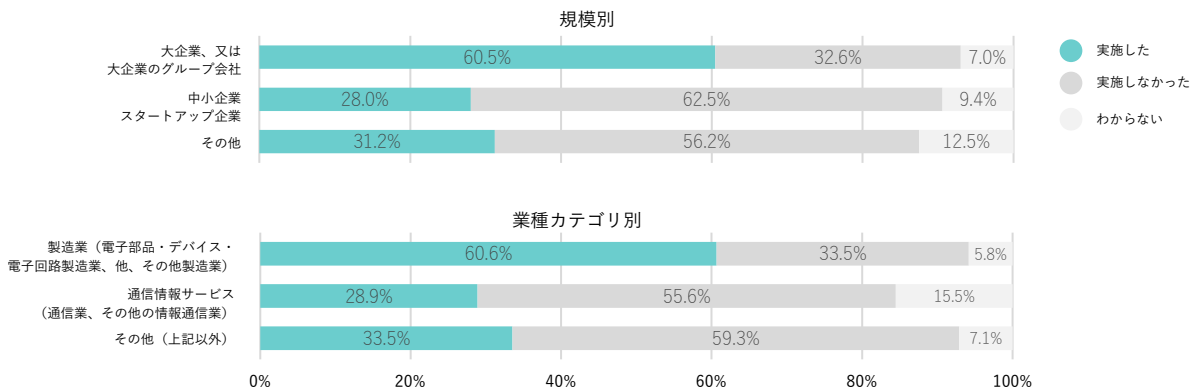
あなたがメインで所属している企業では、直近1年の間、従業員のリスキングに関する取り組みを行いましたか。



従業員規模別に見ると、リスキングの取り組み率は大企業 > 中小・スタートアップ企業。
業種カテゴリ別には、製造業 > 通信情報サービス・その他の順である。

Q

あなたがメインで所属している企業では、直近1年の間、従業員のリスキングに関する取り組みを行いましたか。



大企業の取り組み率が60.5%と、中小・スタートアップ企業の28.0%に対して2倍以上。
製造業の取り組み率が60.6%と、通信情報サービスの28.9%に対して2倍以上である。

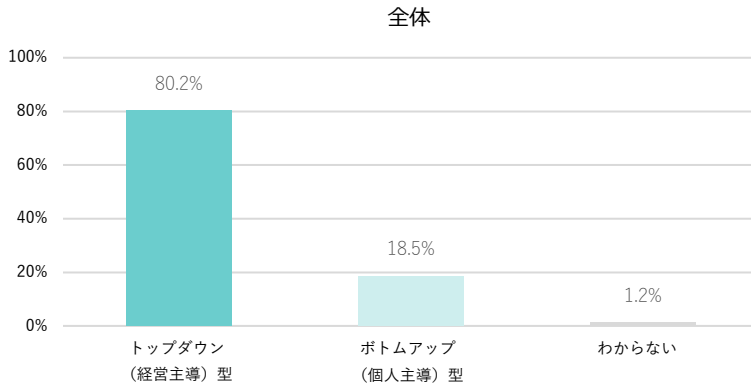
※「大企業」＝従業員数が300人以上の企業。「中小企業とスタートアップ」＝従業員数が300人未満で、新規事業開発と成長を経営の主軸に置かない企業と従業員数が300人未満で、新規事業開発と成長を経営の主軸に置く企業。大企業の子会社やグループ会社は含まれない。

02. リスキリングの種類～トップダウンかボトムアップか

リスキリングを実施している企業の8割がトップダウン（経営主導）による。

Q

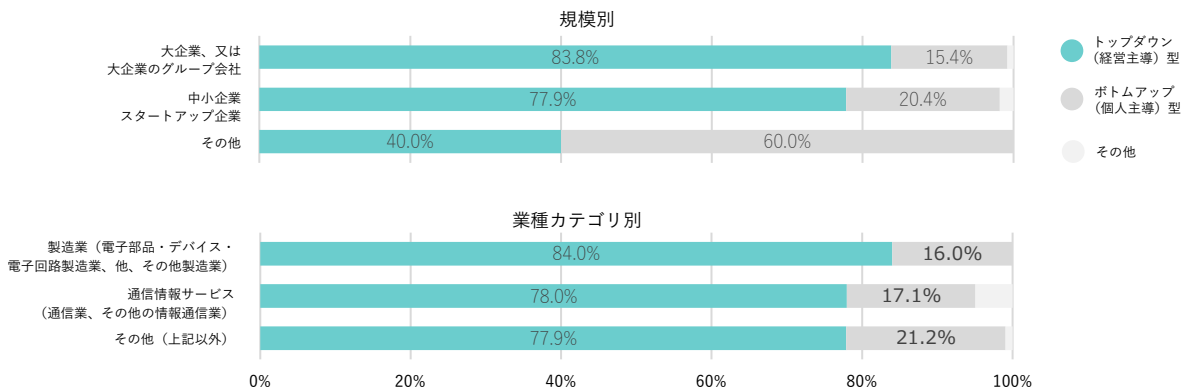
あなたがメインで所属する企業におけるリスキリングの取組みは、トップダウン（経営主導）型で行っていますか、ボトムアップ（個人主導）型で行っていますか。



従業員規模別に見ると、大企業のほうがトップダウン比率がやや高い。
業種カテゴリ別では製造業のトップダウン比率がやや高い。

Q

あなたがメインで所属する企業におけるリスキリングの取組みは、トップダウン（経営主導）型で行っていますか、ボトムアップ（個人主導）型で行っていますか。

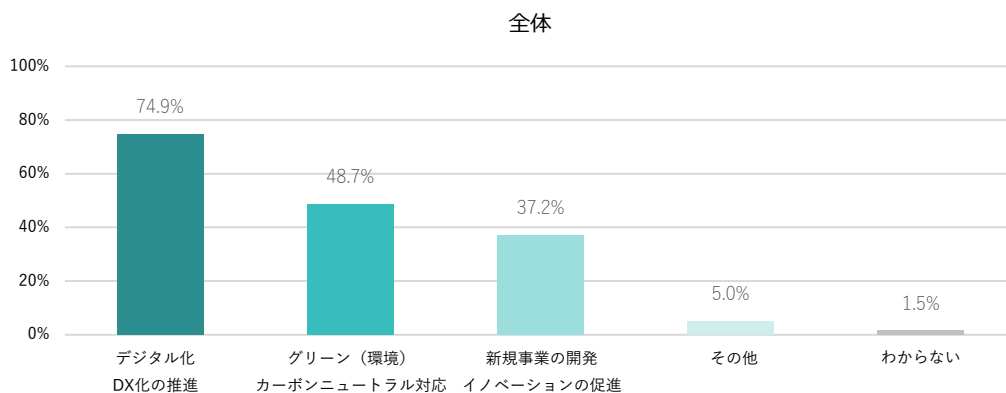


大企業のトップダウン比率は83.8%、中小・スタートアップ企業は77.9%と、5.9%の差
製造業のトップダウン比率は84.0%、通信情報サービスは78.0%と、6.0%の差。

03. リスキングの目的

リスキングの目的は、DX化 > GX化 > 新規事業開発 の順。

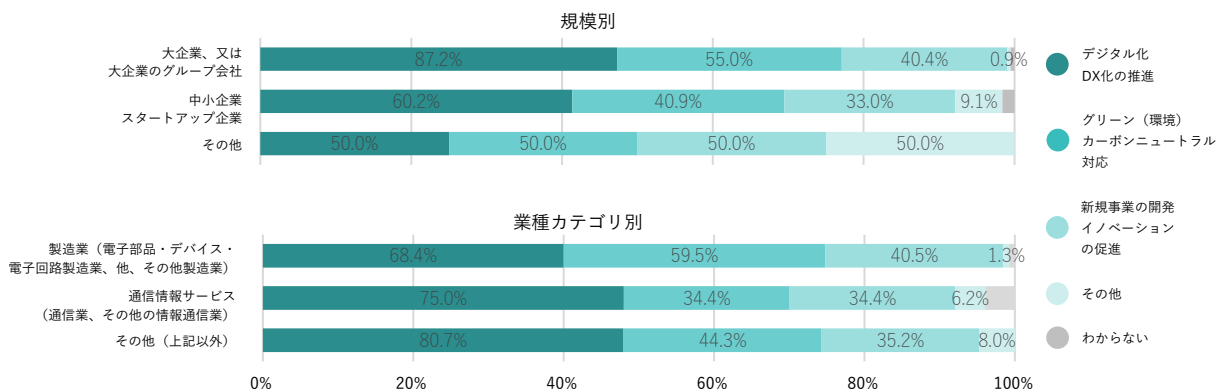
Q あなたがメインで所属する企業におけるリスキングの取り組みは、どのような目的で行いましたか。



デジタル化・DX化の推進が74.9%で、GX化（グリーン・カーボンニュートラル対応）の48.7%に26.2%の差をつけている。

従業員規模別に見ると、規模が大きいほどDX化の比率が高い。
業種カテゴリ別には、通信情報サービスでDX化の比率が高く、
製造業ではDX化に次いでGX化の比率も高くなっているのが特徴的。

Q あなたがメインで所属する企業におけるリスキングの取り組みは、どのような目的で行いましたか。



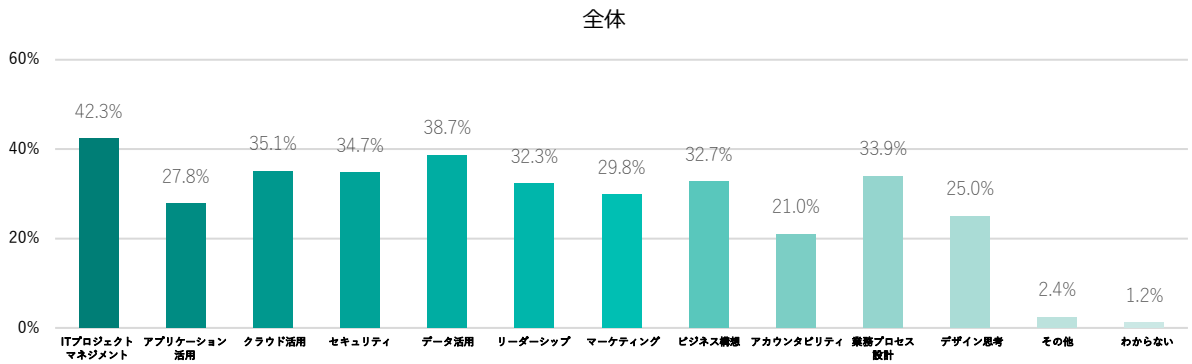
大企業ではDX化・GX化ともに、中小・スタートアップ企業の比率も高い。
製造業・通信情報サービスともDX化の推進の比率が高いが、
製造業のGX化が59.5%と、通信情報サービスの34.4%よりも25.1%高いのは特徴的。

04. リスキングのスキル種類 - 01

リスキングの目的となるスキルは、「ITプロジェクトマネジメント」「データ活用」「クラウド活用」が上位である。



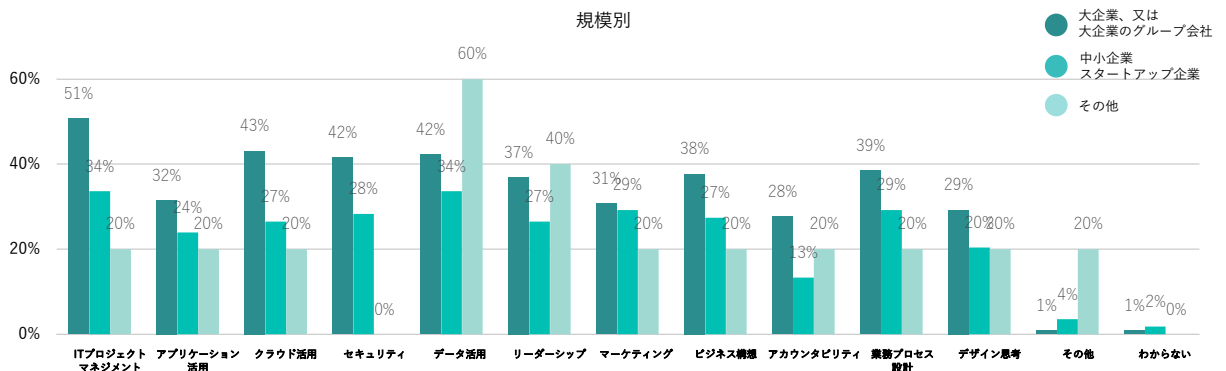
あなたがメインで所属する企業におけるリスキングの取り組みでは、どのスキルを取得することを重視していますか。



従業員規模別に見てもトップは「ITプロジェクトマネジメント」である。規模別の差異は下記補足コメント参照。



あなたがメインで所属する企業におけるリスキングの取り組みでは、どのスキルを取得することを重視していますか。



大企業の上位はITPM、セキュリティ、クラウド活用、データ活用。

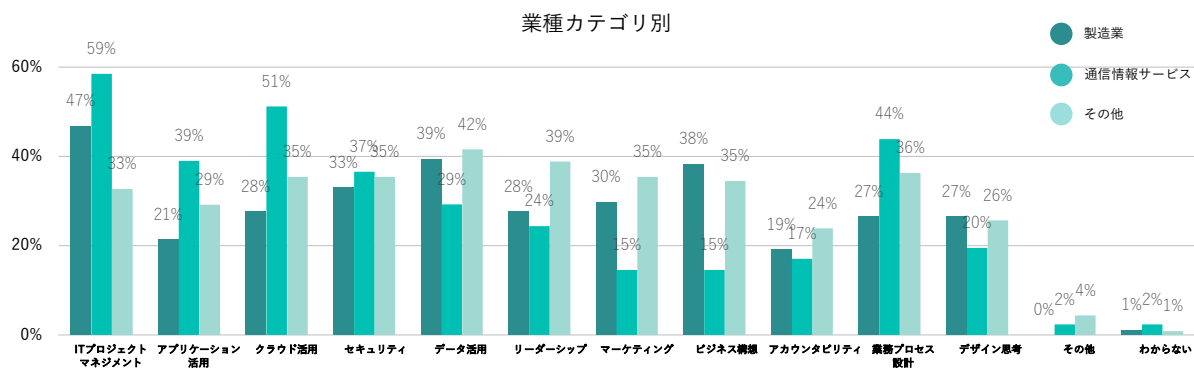
中小・スタートアップ企業の上位はITPM、データ活用、マーケティング、セキュリティ。

04. リスキングのスキル種類 - 02

業種カテゴリ別に見てもトップは「ITプロジェクトマネジメント」である。
業種カテゴリ別の差異は下記補足コメント参照。

Q

あなたがメインで所属する企業におけるリスキングの取り組みでは、どのスキルを取得することを重視していますか。



製造業の上位はIT-PM、データ活用、ビジネス構想、セキュリティ。

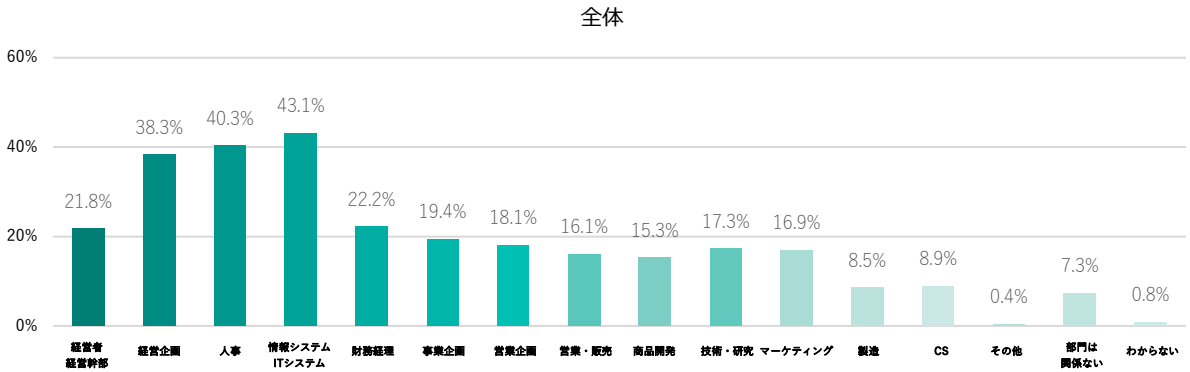
通信情報サービスの上位はITPM、クラウド活用、業務プロセス設計、アプリケーション活用。

05. リスキングの対象部門 - 01

リスキングの対象部門は、情報システム・IT、人事、経営企画が上位である。



あなたがメインで所属する企業において、リスキングの取り組みの対象となる方は、主にどのような部門に所属していますか。

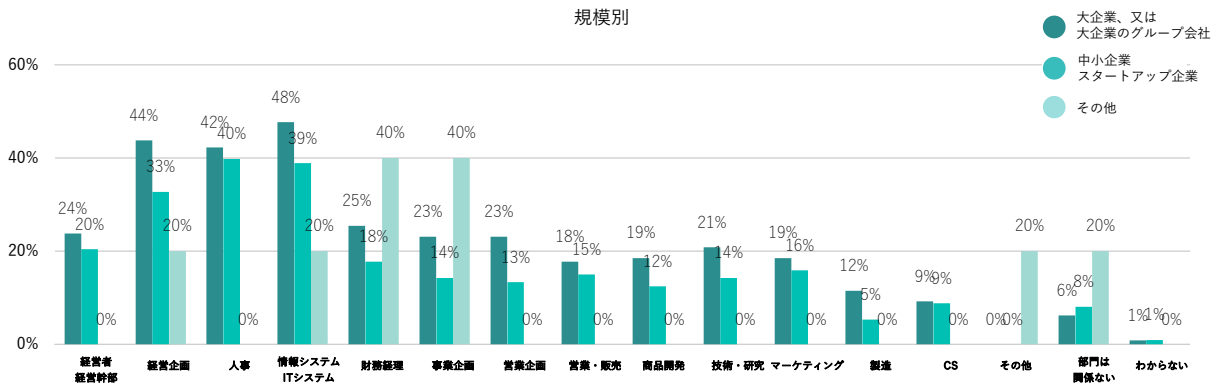


経営企画や人事の比率が高いのは、リスキングがトップダウン（経営主導）で行われていることと関連する。情報システム・ITの比率が高いのは、ITプロジェクトマネジメントやデータ活用等の領域が高いことが関連する。

従業員規模別に見ても情報システム・IT、経営企画が上位である。
規模別の差異は下記補足コメント参照。



あなたがメインで所属する企業において、リスキングの取り組みの対象となる方は、主にどのような部門に所属していますか。



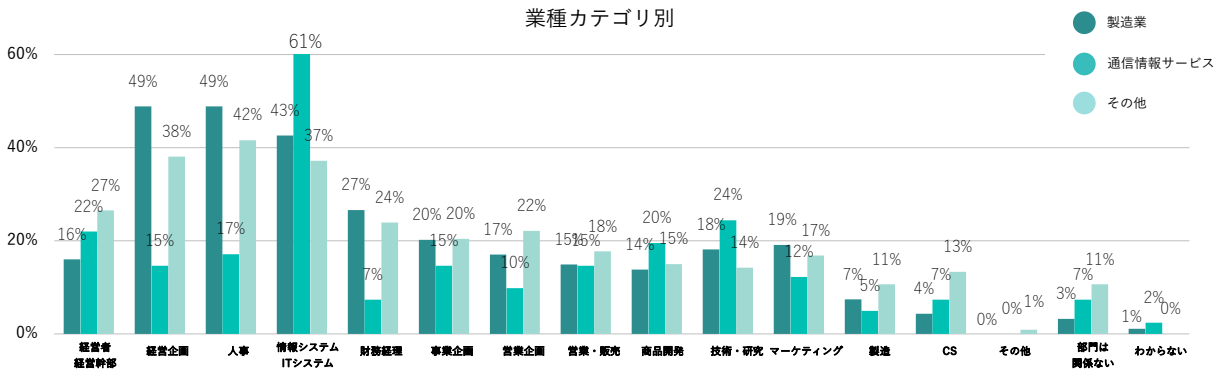
情報システム・IT、経営企画、人事、経営者・経営幹部が上位。
中小・スタートアップ企業は情報システム・IT、人事、経営企画、経営者・経営幹部が上位。

05. リスキングの対象部門 - 02

業種カテゴリ別に見ても情報システム・IT、経営企画が上位である。
業種カテゴリ別の差異は下記補足コメント参照。

Q

あなたがメインで所属する企業において、リスキングの取り組みの対象となる方は、主にどのような部門に所属していますか。



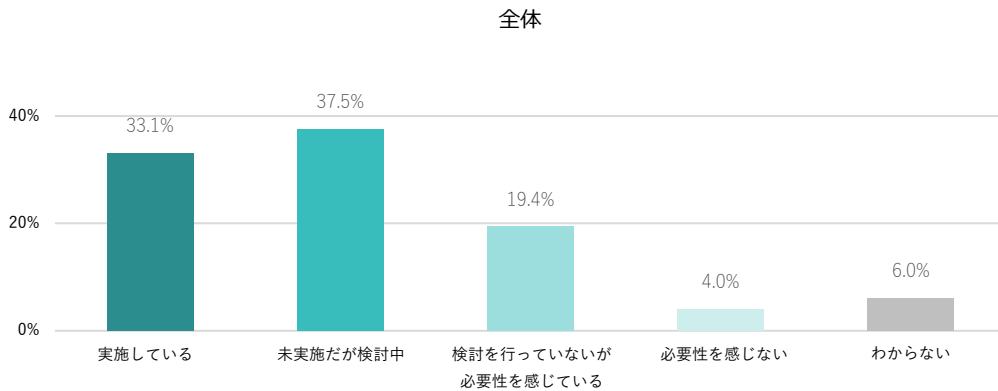
製造業は経営企画・人事、情報システム・IT、財務経理が上位。通信情報サービスは情報システム・ITが61%と圧倒的であり、次いで経営者・経営幹部が22%。

06. リスキングの優遇措置

リスキングを行う人材に対して昇給を行っている企業は全体の33%
検討中の37.5%と合わせると7割が昇給を実施・検討中。

Q

あなたがメインで所属する企業では、リスキングを行う人材に対して、「リスキング後の昇給」を行っていますか。



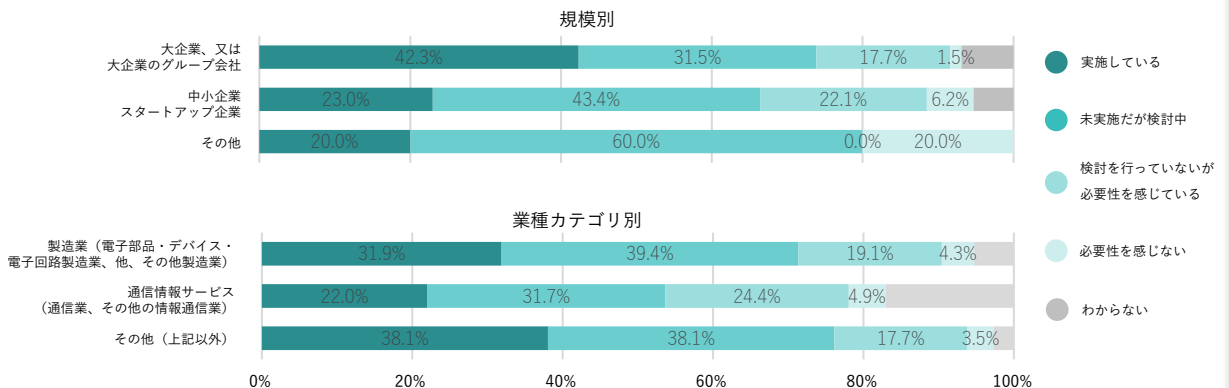
上記の「昇給」のほかにも「一時的なインセンティブの付与」や「リスキング語の昇給」も同様の傾向を示した（グラフ非添付）。これもトップダウン（経営主導）の実施率が8割という現状と関連があると言えよう。

従業員規模別には大企業の実施率が42.3%と、中小・スタートアップ企業の23.0%に対して倍近く差をつけている。

業種カテゴリ別には製造業の昇給実施率・実施予定率が通信情報サービスよりも高い。

Q

あなたがメインで所属する企業では、リスキングを行う人材に対して、「リスキング後の昇給」を行っていますか。



上記の「昇給」のほかにも「一時的なインセンティブの付与」や「リスキング語の昇給」も同様の傾向を示した（グラフ非添付）。

『リスクリング キャンプ』 サービス紹介

『リスキリング キャンプ』 リスキリング支援サービス

学習者の心に寄り添い、最適なカリキュラム設計と学習伴走の仕組みで組織に必要なリスキリングを成功に導きます。

背景 デジタル人材の獲得競争が過熱

総合経済対策（2022年10月28日閣議決定）によりリスキリングに5年間で1兆円の支援策が発表されました。リスキリングというキーワードに注目が集まっています。

企業がDXを推し進めるためにもデジタル人材の需要が高まっています。そのため、市場ではデジタル人材の獲得競争が過熱しており、外部からの雇用と並行して内部人事施策としてリスキリングの需要が高まっています。

人事施策としてのリスキリング

	内部労働市場	外部労働市場
即戦力	抜擢人事 社内のDX人材を集め優遇	中途採用 デジタル人材の争奪戦
育成戦力	リスキリング 昨今注目される施策	新入社員採用 ジョブ型雇用に伴い報酬が高騰

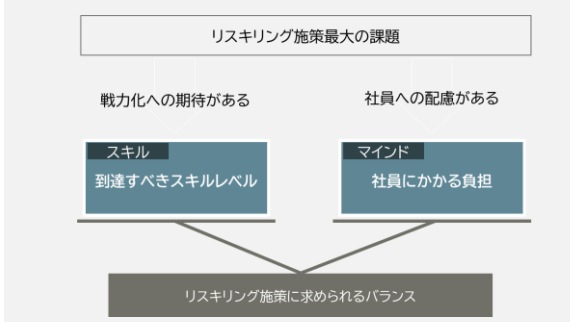
(出所：パーソルイノベーション 橋内秀賢作成)

PICK UP! リスキリング施策成功へのカギ

リスキリング施策最大の課題はスキルとマインドのバランスを取ることです。知識としての学習（スキル）だけでなく、マインドセットの変革による学習習慣の定着化や目的意識の醸成が重要です。

『リスキリング キャンプ』は最適なカリキュラム設計とコーチによる学習伴走でリスキリング施策を成功に導きます。

リスキリング事例 目的



リスキリング事例 支援

課題	支援概要
スキル 到達すべきスキルレベル	デジタルスキル要件定義とカリキュラム設計 学習データによる達成度の計測
マインド 社員にかかる負担	コーチによるマインド醸成 学習継続率99%の学習伴走

『リスキリング キャンプ』が選ばれる理由

リスキリング支援サービスとしての特長

施策の検討要件	学びのコーチが選ばれる理由
Q:人材育成基準の達成可能性	スキル要件定義とカリキュラム設計 達成度の計測
C:費用対効果の合理性	中途採用費用とのバランスする リスキリング費用
D:IT人材獲得手段としての再現性	学習継続率99%の伴走ノウハウ キャリアコーチングノウハウ

リスキリング支援サービスとしての実績

PERSOL NEWS RELEASE
 2022年10月5日
 パーソルイノベーション株式会社

学びのコーチ
 リスキリング支援サービス『学びのコーチ』、
 パーソルホールディングス グループIT本部にて
 セキュリティ人材育成目的で活用が決定

パーソルイノベーション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：長井 利仁、以下パーソルイノベーション）が展開するリスキリング支援サービス『学びのコーチ』（<https://www.manabicoach.jp/>）が親会社でもある総合人材サービスのパーソルホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長、CEO：和田 孝雄、以下パーソルホールディングス）のグループIT本部の社員に活用されることが決定しました。

※旧サービス名称でのプレスリリースとなります。

📧 お問い合わせ

Reskillingcamp-contact@persol-innovation.co.jp



デジタル人材育成に関する 無料オンライン相談実施中

本資料内のデータ・グラフ等の画像・文章の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

Reskilling CAMP

パーソルイノベーション株式会社
Reskilling Camp（リスキリング キャンプ）

Reskilling ^{CAMP}